

経営比較分析表（平成30年度決算）

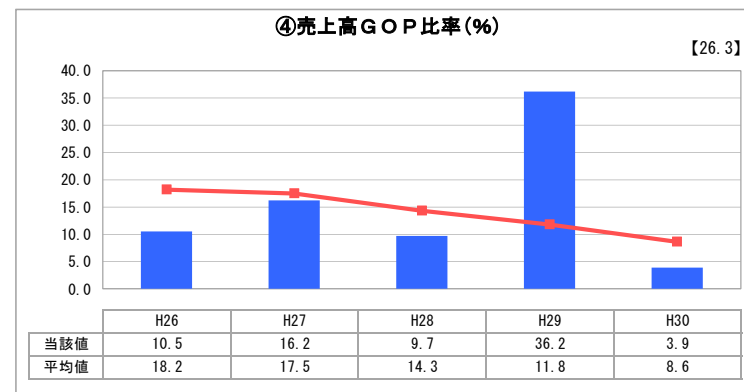
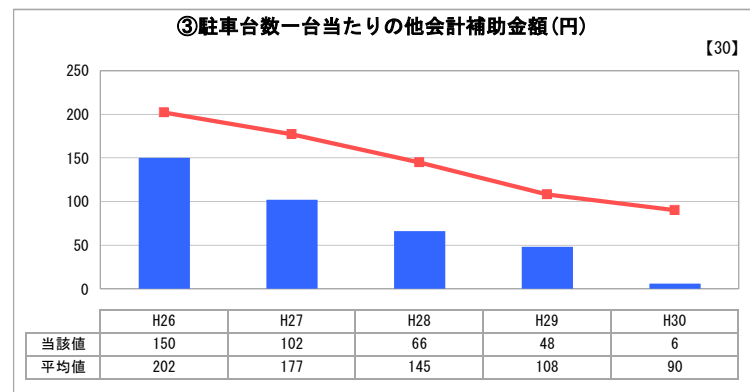
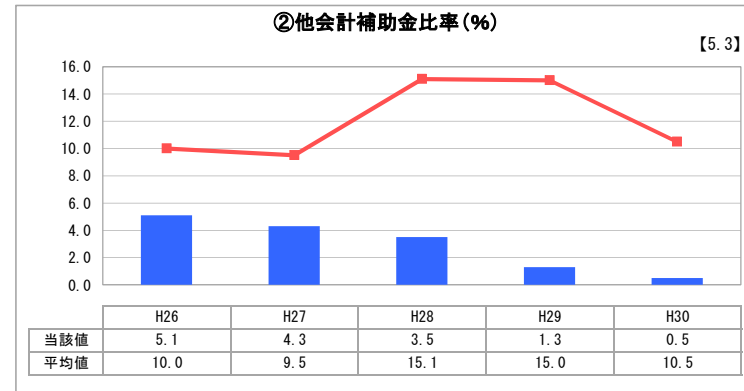
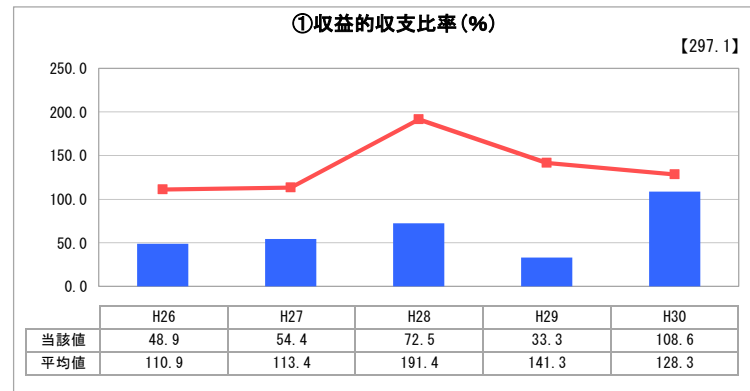
神奈川県横浜市 馬車道地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	地下式	20	

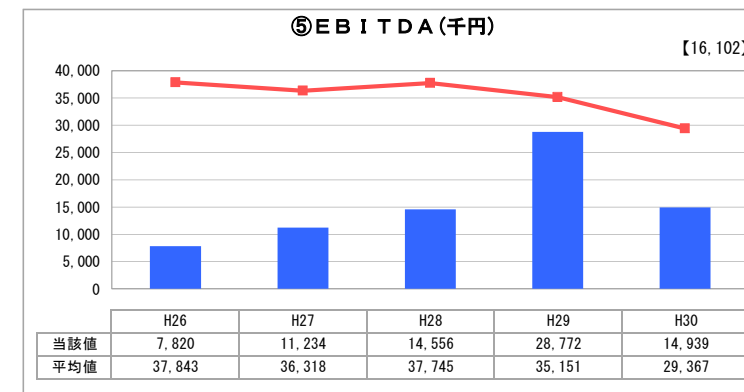
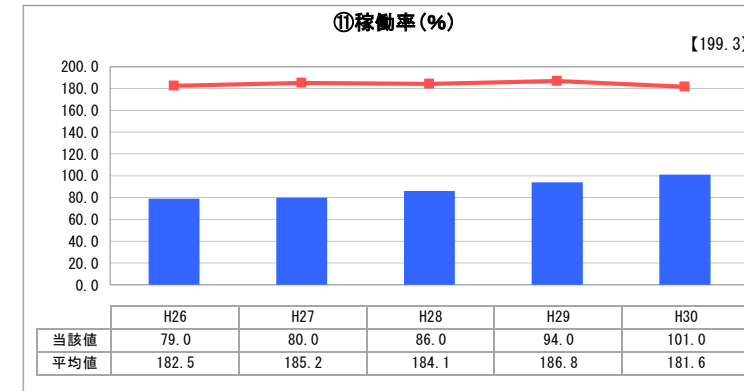
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	10,078
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	400	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

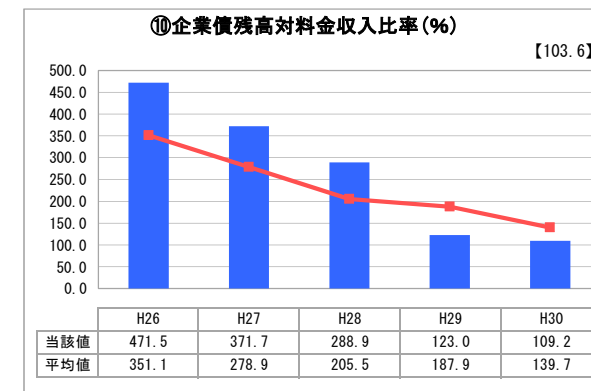


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

55,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率
 単年度赤字の状態であるので、経営改善に向けた取組が必要だと考えている。そこで、令和2年4月から指定管理者による管理運営とすることで、経営改善を図っていく。
 ②他会計補助金比率及び③駐車台数一台当たりの他会計補助金額
 経年比較においては、減少傾向にある。これは、地方債の償還が進み残高が減少していることから、一般会計からの繰入金金が減少しているためだと思われる。
 ④売上高GOP比率及び⑤EBITDA
 数値は低く望ましい状態ではない。経営改善を図るため、令和2年4月から指定管理者による管理運営とする。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率及び⑨累積欠損金比率
 法非適用企業のため対象外
 ⑦敷地の地価
 道路の地下に設置した駐車場であり、用地は購入していないため価格は「0」である。
 ⑧設備投資見込額
 当初の設備投資額に比べて、大きな金額ではないが、将来の事業継続の見込みも含めて慎重に見直ししていく。
 ⑩企業債残高対料金収入比率
 数値は高く望ましい状態ではない。企業債は減少しているため、令和2年4月から料金収入の増加が見込める指定管理者による管理運営とする。

3. 利用の状況について
 ⑩稼働率
 数値は、やや増加傾向にあるが、あまり高くない。令和2年4月から指定管理者による管理運営とするので、より効率的な運営による稼働率の向上が望まれる。

全体総括
 経営改善の取組が必要な状態であるため、令和2年4月から指定管理者による管理運営とする。さらに、今後の設備投資に当たっては、将来の事業継続の見込みも含めて慎重に検討していく。